

乾田V溝直播栽培コシヒカリの生育は、やや早まっており、茎数が多く葉色はやや淡くなっています。

また、幼穂形成期は、昨年並みの7月19日頃と予想されます(移植より11日程度遅い)。

生育に合わせた肥培管理と防除の徹底で、収量と品質の安定確保に努めましょう。

乾田V溝直播コシヒカリの生育状況
(7月8日現在: JAあおば管内5ヶ所平均)

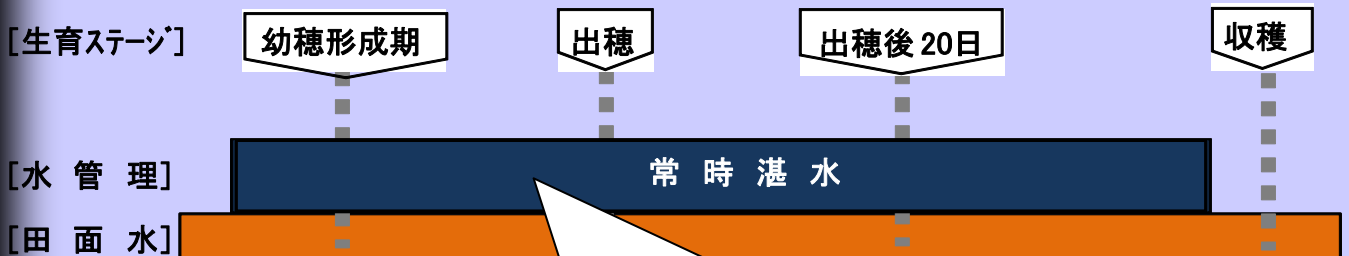
年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉令 (葉)	葉色
28年	62.9	685	9.6	3.8
27年	56.0	570	9.5	3.8
近年 (H19~27)	58.0	518	9.5	4.0

生育ステージの予想

幼穂形成期 ⇒ 7月19日頃
出穂期 ⇒ 8月10日頃

水管理

○地耐力は確保されていますので、収穫直前まで湛水状態を維持しましょう。



一発肥料の穂肥成分の吸収にも、水が必要です。
しっかりと湛水状態を維持しましょう。

出穂前の葉色確認

○必ず出穂7~10日前頃に葉色の確認を行い、葉色3.8(砂壤土では4.0)を下回る場合は、速やかに追肥化成3号で5~7kg/10aを施用し、穂揃期の葉色を4.2~4.5(砂壤土は4.5)へ誘導しましょう。

※幼穂形成期頃に3.7を下回り、極端な色ざめが見られる場合はJAにご相談下さい。

病虫害防除

○斑点米の原因となるカメムシ類やいもち病等の防除の徹底を図りましょう。

防除時期		対象病虫害	農薬名		10a当たり 散布量
生育ステージ	時期の目安				
出穂始期	8/7~9頃	穂いもち、紋枯病 カメムシ類	粉剤	ラテラワイド粉剤DL	4kg
			液剤	アミスタートレボン SE	1000倍 100~150L
穂揃期	8/13~15頃	穂いもち ウンカ類、カメムシ類	粉剤	ラフサイドキラップ粉剤 DL	4kg
			液剤	ラフサイドフロアブル +キラップフロアブル(混合)	1000倍 100~150L

※ほ場の生育ステージにあわせて、適期に防除しましょう。

※農薬散布の際は、周辺に飛散しないよう、風のない早朝や夕方を選んで行いましょう。

※カメムシ類の防除効果を高めるために、散布間隔は7日間を目安とし、10日以上開かないよう、計画的に実施してください。

とやまGAPを実践しよう!

「機械作業や農薬使用にかかるリスクを予想し、危害を未然に防ぎましょう。」